

## (財)富山県ひとづくり財団 「夢の卵」育成事業 短期入門受け入れ

8/18(火)~8/20(木)に、(財)富山県ひとづくり財団の事業企画「夢の卵(将来の夢)」の短期入門受け入れを行ないました。

(財)富山県ひとづくり財団では、平成16年度より、大きな夢に向かって努力し、世界の発展に貢献できる子どもたちを育成するため、小学校高学年及び中学生を対象に、将来の夢についての作文を公募し、優秀者を各分野の第一人者のもとへ2泊3日で派遣する事業を行なっております。今年度は689作品の応募があり、その中で「ラグビー選手になる」夢を書いた米山駆君の作文が優秀賞に輝き、「箕内選手のような強い心をもつ人になりたい」と書いたことから、グリーンロケッツに入門依頼がありました。

初日はオリエンテーションが行なわれ、グリーンロケッツの歴史やトップリーグの説明、選手の日々の過ごした方などをスタッフから説明があり、その後、グラウンドとクラブハウスを見学しました。夕食はラグビー部の独身寮でトップアスリートの食事体験を実施し、食事内容の質と量にビックリしていました。

2日目は、朝食からトップアスリートの食事体験を実施。朝からおかずが10品以上あることにまたまたビックリ！その後、選手の働く姿を見学し、各コーチや熊谷キャプテンからの講話を受け、夕方から選手と一緒にグラウンドで練習を行ないました。この日はチーム練習でしたが、グリーンロケッツのメンバーとして、出来る練習は全て参加し、箕内選手から個別指導をしてもらいました。

最終日はグリーンロケッツの関係者に挨拶を済ませ、ラグーマンの聖地「秩父宮ラグビー場」を見学。そこでサプライズ！日本ラグビー協会の岡本事務長から、20歳以下の世界大会で作成された記念グッズをプレゼント！しかし、サプライズはこれでは終わらず、何と、箕内選手も秩父宮ラグビー場に現れ、日本代表で着用した8番のジャージをプレゼント！

当日はお忙しい中秩父宮ラグビー場をご案内していただきました、日本ラグビー協会の皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。

3日間の短期入門を終えた駆君は感謝の気持ちを日本ラグビー協会、箕内選手、グリーンロケッツの関係者に伝え、富山に帰りました。

駆君！箕内選手のような強い心をもつ人間になれるように頑張ってね！



グリーンロケットのメンバーとして、練習開始前の円陣から参加。



箕内選手からの個別指導。  
タックルに入る姿勢など基本スキルをたくさん教えてもらいました。



出来る練習は全て参加し、練習後は選手と一緒にクラブハウスのお風呂に入り、グリーンロケット名物!?立って入れる水風呂にも挑戦しました。



秩父宮に箕内選手が登場！  
日本代表で着用していた8番のジャージをプレゼントしてもらいました。